

ぽっかぽか らいおん5がつ

わくわく その1「年長プライド ~やってみよう~」

進級直後から憧れの年長さんになったんだ!と意識が高くなり、話を聞く姿勢も格段によくなり、自分からやってみようとする意欲もどんどん上昇中の子ども達です。この素敵なプライドを大切に、自信につなげられるよう働きかけています。

★食器を運んでみよう!

食器を大切に扱うことが食事をする上でのマナーにもなることを伝え、配膳台から自分の席へ運び、食べ終わったら片付ける練習をしています。給食を取りに来る子どもたちの表情は、まさしく給食を楽しみにしている顔で、食べ終わったら「おいしかったー」と嬉しそうに報告してくれます。陶器で出来ている器も大切に扱えるようという願いから園で使用しています。

★お茶を入れられるかな?

「右手は取っ手、左手ささえる(ふたを押さえる)」という合言葉で持ち方を知らせました。この持ち方は、お茶の稽古で湯をポッドから注ぐ時の持ち方と同じにしています。安全に湯を注ぐことができるようになる練習でもあるのです。こぼさないようにそっと慎重に注ぐ姿勢はキュート♡上手に入れられると達成感を味わっています。

★シーツを畳めるようになったら?

毎週金曜日の休息開けにシーツとタオル(掛け布団)を畳む時間を設けました。今までお父さんお母さんがやってくれていたことを自分で行うことでどんな気持ちの変化があったか是非お家で聞いてみてください。初めてシーツを畳んだ日は、意外と難しいことだと気づき、中には悔し涙を流す子もいましたが、それでも最後までやろうと頑張っていました。出来た時には「お父さんお母さんが喜ぶね!」と伝えると、年長の自覚がさらに高まったのか、元気いっぱい「うん!!」と答えてくれる姿にすでに感動の担任でした。

★お当番活動…子どもだけ!?

大人がいないところでもかっこよく過ごそうと子ども達に提案。その一環として朝のお当番活動の人数報告を子ども達だけで行ってもらうようにしました。もちろん全て見ていない訳ではなく、最初は、「はじめてのおつかい」のようにゴソゴソと後ろからついていき、次第に「遠くで見てるよ」「ここで待ってるからね」と伝え、チャレンジ。今では、「早く行きたい!!」と子ども同士の時間を楽しめるようになりました。園内のたくさんの大人から褒められるお当番さんですが、つつい気持ち急いで走ってしまう時には、同じく園内のたくさんの大人から「歩きます」と言われています(笑)

わくわく その2「相談しよう♪そうしよう♪」

気持ちの言語化に加え、「詳しく話す・伝える」ことができてくる年長児。友だちとの関係性も深まり、トラブルになっても自分達で解決しようと思えたり、ルールをつくったり、遊びや活動も自分達で行おうとするようになります。小学校の先生を対象にした調査では、『困った事があったら伝えられる』ことが就学前に養ってほしいランキング1位になるくらい就学においても大切な成長の一つです。

わくわくする気持ちを
育てよう!

- ①「友達が間違えた時、どうする?」
- ②「友達とケンカしちゃったとき、どうする?」
というお題でグループごとに相談をしました。

①「笑わない」「なにそれっていわない」「きずつけない」など意見が出る中、一人の子が「助けてあげる!!」と超肯定的に発信、らいおん組の共通認識となりました。助ける方法として『優しい伝え方で教えてあげる』ということをみんなで決めました!

②「大人に知らせる」という意見が割とどのグループでもでていたので、普段、大人がどんな風に解決しようと思っているかを伝えました。ポイントは3つ。ひとつめは、「話し合い」をする。です。泣いたり怒ったり無視したりせず、**自分の思った事を伝え、相手の気持ちや理由を聴く。**ふたつめは、「納得して謝る」です。「謝ればいい」でも「謝らせる」のが最重要としていない、ということ。そして最後は、「**次の約束を決める**」です。大事なものは『次』なので、これからどうしていくか、「また相手にもどうしてもらいたいかを伝えていけるともっと仲良くなれると思うよ。」と話しをしました。最後まで真剣に聞いてくれた子ども達です。
…とはいっても!!今はまだ難しいです。子ども達がこれから園で過ごしていく中で友だちと様々な経験や活動を通して、少しずつ形成されていく力だと思っています。
我々職員も子ども達が健全な人間関係を構築できるよう見守りながら、適切な声掛けや考えられるようにヒントを出しながら応援していきます。ご家庭でも、できるときにはお子さんの話に耳を傾けて頂けたら嬉しいです。どうぞ、よろしくお願いします。